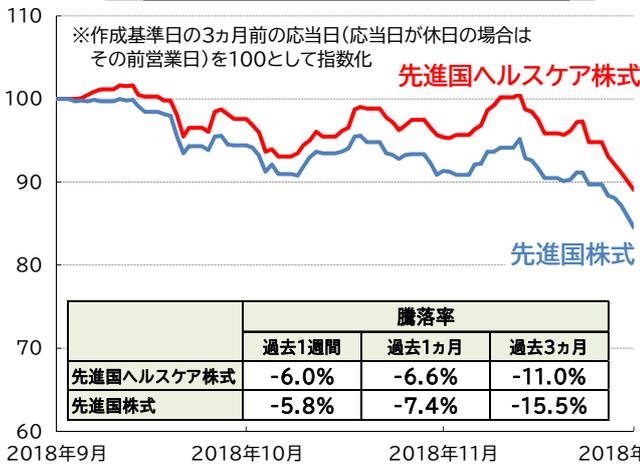


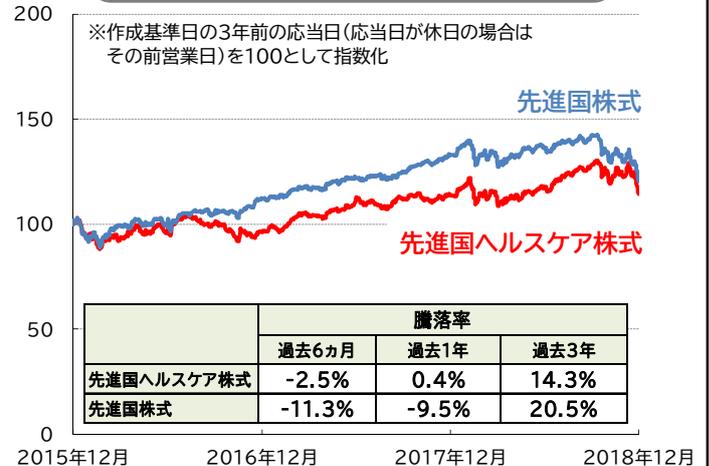
ヘルスケア・バイオ株式マーケット関連情報

ヘルスケア・バイオ株式マーケット情報

株価の推移と騰落率(過去3ヵ月)



株価の推移と騰落率(過去3年)



先進国ヘルスケア株式の上昇率上位5銘柄(前週末比)

銘柄名	騰落率
フィッシャー&パナヘルスケア	6.3%
レコグニツ	5.9%
グラクソ・スミスクライン	2.2%
フレゼリクス	2.0%
ノボヘルス	0.8%

各業種の1株当たり利益(EPS)成長率と株価収益率(PER)

	先進国株式	先進国ヘルスケア株式	エネルギー	素材	資本財	消費財	生活必需品	金融	情報技術	電気通信サービス	公益
1株当たり利益成長率(年率、%)実績→3期先予想	16.6	20.4	35.4	12.9	14.2	15.6	10.3	16.6	22.6	8.4	7.9
今期予想PER(倍)	13.9	15.6	12.9	12.0	13.9	14.6	17.8	10.2	15.3	14.8	16.1
3期先予想PER(倍)	11.8	13.2	10.1	11.1	11.9	12.1	15.3	8.7	12.5	12.5	14.4

*「1株当たり利益成長率(年率、%)実績→3期先予想」の計算において、実績EPSが非常に小さい場合、1株当たり利益成長率が非常に高く表示される場合があります。

(出所)Bloomberg

■マーケット・コメント

先週は、先進国株式、先進国ヘルスケア株式は共に下落しました。

・先進国株式は、週初に発表された米国経済指標が市場予想を下回ったことなどから下落して始まり、週半ば以降は、米連邦公開市場委員会(FOMC)の金融政策会合で今後の経済成長減速懸念を払拭できなかったことや、米政府機関の一部閉鎖への懸念が強まったことから、終始下落基調となりました。セクター別では、情報技術やエネルギーをはじめ全てのセクターが下落しました。

・先進国ヘルスケア株式も先進国株式と同様に下落し、ヘルスケアテクノロジーをはじめ全てのセクターが下落しました。

■ヘルスケア・バイオ関連トピック「消費税率引上げに伴う診療報酬等の改定について合意」

厚生労働省は、2019年10月の消費税率引上げに伴う診療報酬、薬価等の改定について財務大臣と合意したと発表しました。2019年10月実施の改定では診療報酬は0.41%引上げられることで合意された一方、薬価については0.51%引下げられることになりました。薬価引下げ率0.51%には消費税率変更に伴う0.42%の引上げが含まれており、実勢値改定等では0.93%の引下げとなっています(2016年の薬価引下げ率1.69%、2018年4月の薬価引下げ率1.65%)。なお、2020年4月には通常の診療報酬、薬価改定等が行われることになっており、消費税率引上げに伴う今回の変更から半年後の改定でどのような変更がなされるのか注目されます。

(出所)各種報道を基に三菱UFJ国際投信作成

「株価の推移と騰落率」先進国ヘルスケア株式:MSCI ワールド・ヘルスケア・インデックス、先進国株式:MSCI ワールド・インデックスはいずれもトータルリターン(現地通貨ベース)。また、作成基準日のそれぞれ1週間前、1ヵ月前、3ヵ月前、6ヵ月前、1年前、3年前の応当日(応当日が休日の場合はその前日)と比較しています。「先進国ヘルスケア株式の上昇率上位5銘柄(前週末比)」MSCI ワールド・ヘルスケア・インデックスの構成銘柄のうち、作成基準日と作成基準日の1週間前応当日(応当日が休日の場合はその前日)が比較可能な銘柄の騰落率上位5銘柄を集計。「各業種の1株当たり利益(EPS)成長率と株価収益率(PER)」MSCI ワールド・インデックス及びMSCI ワールド・業種別・インデックスの1株当たり利益(EPS)を使用。予想値はBloombergのものを使用。※PER(倍):株価収益率。※1株当たり利益成長率(年率、%)実績→3期先予想:作成基準日の前年の1株当たり利益(EPS)に対する現在の会計年度の3期先の予想EPSの伸び率を三菱UFJ国際投信が年率換算。※3期先予想PER(倍):現在の会計年度の3期先の予想EPSと作成基準日の株価を基に三菱UFJ国際投信が算出。

本資料で使用している指数について

- 先進国株式=MSCI ワールド インデックスとは、MSCI Inc.が開発した株価指数で、世界の先進国で構成されています。
- 先進国ヘルスケア株式=MSCI ワールド ヘルスケア インデックスとは、MSCI Inc.が開発した株価指数で、世界の先進国の株式のうちヘルスケアセクターに分類された銘柄で構成されています。各指数に対する著作権およびその他知的財産権はすべてMSCI Inc.に帰属します。

上記は、過去の実績・状況または作成時点での見通し・分析であり、将来の市場環境の変動や運用状況・成果を示唆・保証するものではありません。また、為替・税金・手数料等を考慮していません。個別銘柄の推奨を目的とするものではありません。

本資料のご利用にあたっての注意事項等

- 本資料は、投資環境等に関する情報提供のために三菱UFJ国際投信が作成した資料であり、金融商品取引法に基づく開示資料ではありません。販売会社が投資勧誘に使用することを想定して作成したものではありません。
- 本資料の内容は作成時点のものであり、将来予告なく変更されることがあります。
- 本資料は信頼できると判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性等を保証するものではありません。